

プログラム 8月22日(金)

【第1会場】(美瑛(6F))

8:00~8:40 モーニングセミナー1

司 会：久松 理一(杏林大学医学部 消化器内科学)

クローン病の未来を切り拓く - 新たな Standard Of Care の可能性 -

松岡 克善(東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科)

共催：ヤンセンファーマ株式会社

8:50~8:55 開会の辞・理事長挨拶

会長、理事長：仲瀬 裕志(札幌医科大学医学部内科学講座 消化器内科学分野)

9:00~10:30 シンポジウム1：IBDの病態解明に向けた基礎研究の挑戦

司 会：溝口恵美子(久留米大学医学部 免疫学講座)

星 奈美子(神戸大学大学院医学系研究科 未来医学講座/バイオリソースヘルスケア
統合科学分野)

永石 歆和(札幌医科大学医学部 解剖学第二講座)

SY1-1 末梢血遺伝子発現プロファイルに基づく潰瘍性大腸炎の病態解析

海江田祐太(慶應義塾大学医学部 内科学(消化器))

SY1-2 コルヒチン反応性腸炎におけるMEFV遺伝子変異の関与の事後解析：E148Qを有する
分類不能腸炎の特徴

我妻 康平(札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)

SY1-3 MEFV遺伝子変異陽性IBD患者の病態解明に向けたMulti-Omics解析

横山 佳浩(札幌医科大学 医学部 消化器内科学講座)

SY1-4 RBBP9によるJAK/STAT1経路制御を介した腸炎・腸炎関連発癌抑制機構の検討

濱田 健輔(関西電力病院、京都大学)

SY1-5 L型アミノ酸トランスポーター1(LAT1)はDSS誘発性大腸炎における組織修復に重
要な役割を果たす

岡本 典大(神戸大学医学部附属病院 消化器内科)

SY1-6 CCR2⁺SPP1⁺単核貪食細胞を介した腸内細菌と腸管線維化の関連

村上 恵太(東京大学医学部附属病院)

- SY1-7 NLRP3欠損はTh2サイトカイン発現を増強し腸炎を悪化させる
 菓 裕貴 (札幌医科大学医学部 消化器内科学講座、鳥取大学医学部附属病院 消化器内科)
- SY1-8 アルギン酸はタウリン産生腸内細菌を介して大腸炎の回復を促進させる
 小田倉里奈 (順天堂大学医学部 消化器内科、順天堂大学 腸内細菌療法リサーチセンター)
- SY1-9 難治性腸管潰瘍に対する3次元培養間葉系幹細胞を用いた局所治療薬の開発
 永石 歆和 (札幌医科大学医学部 解剖学第二講座)

10:40~12:10 パネルディスカッション1:術後合併症のマネジメント

- 司 会：水島 恒和 (獨協医科大学 外科学 (下部消化管) 講座)
 風間 友江 (札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)
 本澤 有介 (関西医科大学 内科学第三講座)
- PD1-1 潰瘍性大腸炎に対する手術症例の治療成績と術後合併症に関する検討
 山内 慎一 (東京科学大学 消化管外科学分野、東京科学大学病院 難病診療部 潰瘍性大腸炎・クローン病先端医療センター)
- PD1-2 潰瘍性大腸炎への大腸全摘術後の長期合併症の現状と治療
 井原 啓佑 (獨協医科大学 下部消化管外科・一般外科)
- PD1-3 術後合併症に留意した潰瘍性大腸炎に対する手術アプローチ
 品川 貴秀 (東京大学 腫瘍外科)
- PD1-4 潰瘍性大腸炎に対する腹腔鏡手術後の門脈血栓症に対するマネジメント
 服部 憲史 (名古屋大学医学部附属病院)
- PD1-5 潰瘍性大腸炎術後における妊孕率低下の現状とマネジメント
 木村 英明 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)
- PD1-6 クロウン病術後症例における腸管機能不全に対するTeduglutideの効果の検討
 西口 貴則 (東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科)
- PD1-7 クロウン病短腸症候群に対する長期マネジメント
 関戸 悠紀 (大阪大学)
- PD1-8 Crohn病関連短腸症候群に対するteduglutideの長期使用経験
 佐藤 寿行 (兵庫医科大学)

12：20～13：10 ランチョンセミナー1：

潰瘍性大腸炎の未来を切り拓く - 新たな Standard Of Care の可能性 -

司 会：仲瀬 裕志（札幌医科大学医学部 内科学講座 消化器内科学分野）

QUASAR 試験から考えるグセルクマブの可能性～完全粘膜治癒を目指す新たな治療選択肢～

猿田 雅之（東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科）

共催：ヤンセンファーマ株式会社

13：20～14：00 会長セッション

司 会：仲瀬 裕志（札幌医科大学医学部内科学講座 消化器内科学分野）

腸内細菌叢のメタゲノム解析による新規治療法の開発

植松 智（大阪公立大学大学院医学研究科・医学部ゲノム免疫学教室
 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターメタゲノム医学分野）

14：10～14：50 アフタヌーンセミナー1

司 会：溝口 充志（久留米大学医学部 免疫学講座）

潰瘍性大腸炎の新たな治療アプローチ～PR3-ANCA とフィルゴチニブの可能性～

竹田津英稔（久留米大学医学部 内科学講座 消化器内科部門／久留米大学病院 消化器病センター）

共催：ギリアド・サイエンシズ株式会社／EA ファーマ株式会社

15：00～16：30 ワークショップ3：プレシジョンメディスンを目指したIBD治療選択

司 会：溝口 充志（久留米大学医学部 免疫学講座）

高木 智久（京都府立医科大学 消化器内科）

三上 洋平（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器））

WS3-1 Nudt15R138C ノックインマウスの精子形成能に対するチオプリンの影響

安藤 朗（川西市立総合医療センター、滋賀医科大学 内科学講座）

WS3-2 IL-6 独立型バイオマーカーである Fuc-proHp と LRG の統合によるクローン病治療選択モデル

良原 丈夫（大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学）

WS3-3 K-means 法を用いた新規診断クローン病患者の初回治療効果予測モデルの構築

村元龍太郎（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座）

- WS3-4 小児炎症性腸疾患の臨床像と抗インテグリン $\alpha_v \beta_6$ 抗体の関連—特に生物学的製剤の反応性について—
大植 啓史 (成育医療研究センター 消化器科・小児 IBD センター、京都大学医学部 附属病院 小児科)
- WS3-5 分子標的治療薬が潰瘍性大腸炎におけるサイトカイン・ケモカインに基づく新規分類と治療反応性に与える影響
小栗 典明 (杏林大学医学部 消化器内科学)
- WS3-6 潰瘍性大腸炎 (UC) の生検病理所見、粘膜中サイトカイン・ケモカインプロファイルと治療選択
大宮 直木 (藤田医科大学医学部 先端光学診療学)
- WS3-7 潰瘍性大腸炎の病態個別化における便中好酸球由来ニューロトキシン測定の意義の検討
三島 義之 (島根大学医学部 内科学講座第2)
- WS3-8 JAK/STAT signaling pathway に関わる遺伝子座と JAK 阻害薬との探索的検討
高岡 慎弥 (山梨県立中央病院)
- WS3-9 活動期潰瘍性大腸炎を対象とする抗菌薬併用腸内細菌叢移植療法の有効性・安全性の検討：多施設共同臨床試験
野村 慧 (順天堂大学 消化器内科、順天堂大学 腸内細菌療法リサーチセンター)

16:40~17:30 イブニングセミナー1

司 会：藤谷 幹浩 (旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野)

IBD 診療の今 ~診断から治療、そして医療経済まで~
平井 郁仁 (福岡大学医学部 消化器内科学講座)

共催：セルトリオン・ヘルスケア・ジャパン株式会社／日本化薬株式会社

【第2会場】(大沼 (3F))

8:00~8:40 モーニングセミナー2

司 会：長沼 誠 (関西医科大学 内科学第三講座)

非難治潰瘍性大腸炎治療における治療戦略 ~カログラ®の役割にスポットを当てる~

伊藤 貴博 (札幌東徳洲会病院 IBD センター)

共催：EA ファーマ株式会社 / キッセイ薬品工業株式会社

9:00~10:30 ワークショップ1：IBDと腸管外合併症

司 会：猿田 雅之 (東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科)

加藤 真吾 (埼玉医科大学総合医療センター 炎症性腸疾患センター / 消化器・肝臓内科)

芦塚 伸也 (福岡大学医学部 消化器内科講座)

基調講演 IBDにおける腸管外合併症 ~現状と今後の課題~

松浦 稔 (杏林大学医学部 消化器内科学)

WS1-1 小児炎症性腸疾患の腸管外合併症-原発性硬化性胆管炎の臨床像-

梅津守一郎 (済生会横浜市東部病院 小児肝臓消化器科)

WS1-2 原発性硬化性胆管炎 (PSC) と炎症性腸疾患 (IBD) の関連性に関する臨床的検討

徳重 裕陽 (福岡大学病院 消化器内科)

WS1-3 当院における炎症性腸疾患とIgA腎症の合併症例について

有光 晶子 (医療法人錦秀会インフュージョンクリニック)

WS1-4 抗腫瘍壊死因子抗体治療を受けた潰瘍性大腸炎患者における血管炎性疾患の逆説的発症

中森 義典 (横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター、横浜市立大学 消化器内科学)

WS1-5 炎症性腸疾患におけるFIB-4 indexおよびeGFRの年齢別変化：6年間の電子カルテデータ解析

細見 周平 (大阪公立大学大学院医学研究科)

WS1-6 MEFV遺伝子変異を有する慢性腸炎例の治療における腸管外徴候の検討

高嶋 祐介 (富山大学 炎症性腸疾患内科、富山大学 IBD センター)

WS1-7 当院におけるクローン病患者の腸管外兆候としての胆石、尿管結石と関連因子の検討

梅田 悠平 (三重大学医学部附属病院 消化器・肝臓内科)

WS1-8 自己免疫性膵炎を合併した潰瘍性大腸炎の臨床的特徴と長期予後

服部 峻 (豊橋市民病院)

WS1-9 炎症性腸疾患入院患者に対する未分画ヘパリンによる予防の有効性・安全性：多施設前向き研究

安藤 勝祥（旭川医科大学内科学講座 消化器内科学分野）

10：40～12：10 ワークショップ2：IBD患者のQOL向上のために～小児から成人にかけて～

司 会：新井 勝大（国立成育医療研究センター 消化器科/小児IBDセンター）

平岡佐規子（岡山大学病院 炎症性腸疾患センター）

石毛 崇（群馬大学大学院医学系研究科 小児科学）

WS2-1 大学生IBD患者対象の就活・就労セミナーを開催して

西村 桂子（京都第二赤十字病院 看護部）

WS2-2 炎症性腸疾患患者に対する治療と生活の両立支援への取り組み

清水未来子（JCHO 東京山手メディカルセンター）

WS2-3 炎症性腸疾患を伴う短腸症候群患者のアンメットニーズとQoLとの関係

渡辺 和宏（東北大学大学院医学系研究科 外科病態学講座 消化器外科学）

WS2-4 当院における妊娠可能年齢女性に対する炎症性腸疾患治療選択の現状

酒井 愉未（県立広島病院）

WS2-5 肛門病変を有する学生のクローン病症例におけるbio active switch成績

増田 勉（社会医療法人健生会 生駒胃腸科肛門科診療所）

WS2-6 新規クローン病診断患者における労働生産性への影響と疲労との関連：iCREST-CDのサブ解析

田村 皓子（東京科学大学 消化器内科）

WS2-7 潰瘍性大腸炎患者における外来検査の受容性に関する検討

井口 俊博（岡山大学 腸健康科学研究センター）

WS2-8 小児期発症の炎症性腸疾患における成長障害

今川 和生（筑波大学医学医療系 小児科、筑波大学附属病院 小児内科）

WS2-9 北海道の炎症性腸疾患患者に対する患者満足度と生活実態に関する調査

羽澄あゆこ（札幌医科大学附属病院 看護部）

WS2-10 「ここからチェック」を用いた小児期発症炎症性腸疾患の自立・自律支援の試み

萩原真一郎（大阪母子医療センター 消化器・内分泌科）

12：20～13：10 ランチョンセミナー2

司 会：松本 主之（岩手医科大学 内科学講座消化器内科分野）

SEQUENCE 試験から考えるクローン病の治療ストラテジー

加藤 順（千葉大学医学部附属病院・内視鏡センター）

クローン病患者さんと治療を考える～リンヴォックという選択肢～

横山 薫（北里大学医学部 消化器内科学）

共催：アッヴィ合同会社

14：10～14：50 アフタヌーンセミナー2

司 会：溝口恵美子（久留米大学医学部 免疫学講座）

IBDにおける栄養管理と治療

酒匂美奈子（JCHO 東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科）

IBD研究35年が教えてくれた臨床のヒント

安藤 朗（川西市立総合医療センター IBD センター）

共催：ミヤリサン製薬株式会社

15：00～16：30 パネルディスカッション2：

炎症性腸疾患における画像診断の新展開とその臨床的意義

司 会：平井 郁仁（福岡大学医学部 消化器内科講座）

橋本 真一（山口大学医学部附属病院 IBD センター）

三好 潤（杏林大学医学部 消化器内科学）

PD2-1 クローン病の小腸病変に対するロイシンリッチ α 2グリコプロテインの有用性

太田佳奈美（山口赤十字病院 消化器内科）

PD2-2 実臨床でのバルーン内視鏡内視鏡, LRGによるクローン病小腸粘膜治癒の評価

有明 千鶴（大船中央病院 消化器・IBD センター）

PD2-3 クローン病における腸管エコーを用いた早期治療効果判定:前向き研究

佐上晋太郎（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

PD2-4 クローン病小腸狭窄に対する腸管超音波検査とダブルバルーン内視鏡所見の比較検討

小松 悠香（杏林大学医学部 消化器内科学）

PD2-5 当院におけるCTEの実施状況と有害事象の現況について

松本 怜子（山口大学医学部附属病院 IBD センター）

- PD2-6 MR エンテログラフィーにおける深層学習モデルを用いたクローン病病変検出
竹中 健人 (東京科学大学病院)
- PD2-7 小腸カプセル内視鏡所見を用いた早期クローン病診断スコアの開発
武富 啓展 (佐賀大学医学部内科学講座 消化器内科)
- PD2-8 クローン病疾患活動性評価における小腸内視鏡の有用性
本澤 有介 (関西医科大学)
- PD2-9 クローン病患者へのハイブリッド内視鏡による全腸管評価と治療介入の妥当性
伊藤 貴博 (札幌東徳洲会病院 IBD センター)
- PD2-10 腹部単純C T 検査での画像情報は潰瘍性大腸炎の臨床的重症度評価の指標となりうるか？
愛澤 正人 (福島県立医科大学会津医療センター 消化器内科)

16：40～17：30 イブニングセミナー2

司 会：内藤 裕二 (京都府立医科大学大学院 医学研究科 生体免疫栄養学講座)

実臨床のコツ！ 潰瘍性大腸炎治療における整腸の意味

横山 陽子 (兵庫医科大学 消化器内科学講座)

共催：東亜新薬株式会社／東亜薬品工業株式会社

【第3会場】(大雪 (6F))

9:00~9:36 一般演題1

座長：玉置 敬之(高松赤十字病院 消化器内科)

佐々木 悠(山形大学医学部 内科学第二(消化器内科学)講座)

O01-1 限局型潰瘍性大腸炎における初期治療失敗と近位進展の関連性

佐藤 寿行(兵庫医科大学 消化器内科講座)

O01-2 潰瘍性大腸炎における生物学的製剤導入後のCRPと寛解維持についての検討

鎮西 亮(さいたま赤十字病院)

O01-3 当院における高齢潰瘍性大腸炎患者に対する診療の現状について

辛島 遼(東邦大学医療センター大森病院 消化器内科)

O01-4 潰瘍性大腸炎直腸炎型の口側進展についての検討

稲垣 水美(健生会 土庫病院 消化器・肛門病センター)

O01-5 当院における直腸炎型潰瘍性大腸炎の実態と治療経過の推移

山崎ゆうか(獨協医科大学病院)

O01-6 K-means法を用いたASUC患者における手術リスクと治療効果予測

須藤 翔(一部事務組合下北医療センター むつ総合病院、弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座)

9:40~10:10 一般演題2

座長：渡辺 和宏(東北大学大学院 消化器外科学)

堀尾 勇規(兵庫医科大学 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科)

O02-1 潰瘍性大腸炎に対する回腸人工肛門造設が腎機能に与える影響についての検討

岸田 貴喜(名古屋大学)

O02-2 潰瘍性大腸炎に対するロボット支援下手術

中山 吾郎(名古屋大学医学部附属病院 IBDセンター)

O02-3 潰瘍性大腸炎関連腫瘍に対する腹腔鏡手術導入期の術後短期成績と課題

後藤 晃紀(横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科)

O02-4 潰瘍性大腸炎3期分割手術における腹腔鏡手術の現状と課題

中島 一記(広島大学大学院医系科学研究科 外科学、広島大学大学院医系科学研究科 消化器・移植外科学)

O02-5 高齢潰瘍性大腸炎に対する手術成績

高柳 雅(獨協医科大学 下部消化管外科)

10：15～10：45 一般演題3

座 長：高橋 賢一（東北労災病院 大腸肛門外科）

横尾 貴史（健生会 土庫病院 消化器・肛門病センター）

O03-1 クロウン病に対する腸管手術症例の定型化前後での検討

皆川 知洋（富山大学 消化器・腫瘍・総合外科、富山大学附属病院 IBD センター）

O03-2 CD肛門病変に対するダルバドストロセル投与の現状と問題点

桑原 隆一（兵庫医科大学）

O03-3 十二指腸病変合併クローン病にする外科的治療の検討

梅田 晋一（名古屋大学大学院医学系研究科 消化器外科学、名古屋大学医学部附属病院 炎症性腸疾患治療センター）

O03-4 IBD専門医かつ肛門科医が考えるクローン病肛門病変治療例の検討

植田 剛（佐井胃腸科・肛門科）

O03-5 当科における小児炎症性腸疾患に対する外科治療の現状と今後の課題

直江 篤樹（藤田医科大学 小児外科学講座）

10：50～11：20 一般演題4

座 長：長森 恒久（旭川医科大学 小児科学講座）

香川美和子（公立学校共済組合 四国中央病院 内科）

O04-1 小児IBDにおける、血清LRGおよび便中カルプロテクチンと臨床的・内視鏡的重症度との相関

石川 達也（大阪母子医療センター 消化器・内分泌科）

O04-2 妊娠中に5-アミノサリチル酸製剤を内服した炎症性腸疾患合併妊婦から生まれた児の貧血に関する検討

菅 悠紀（横浜市立大学附属市民総合医療センター IBD センター）

O04-3 ステロイド抵抗性小児潰瘍性大腸炎の予後－タクロリムス使用例の後方視的検討

高木 祐吾（熊本赤十字病院こども医療センター 小児消化器・肝臓科）

O04-4 クロウン病における肛門病変の重症度と腸管病変との関連性

黒木 博介（横浜市立市民病院）

O04-5 短期的に中心静脈カテーテル関連感染入院を繰り返すクローン病を背景としたHPN症例の臨床的特徴の探索

立石 翔（JCHO 東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科）

11：25～12：01 一般演題5

座 長：秋田 義博（東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科）
佐藤 允洋（森山病院 内科）

O05-1 便潜血陽性を契機に診断に至った潰瘍性大腸炎の臨床的特徴

松井 佐織（淀川キリスト教病院）

O05-2 当院の潰瘍性大腸炎患者におけるS状結腸内視鏡検査の全大腸内視鏡検査に対する代替性の検討

田中 信（京都第一赤十字病院）

O05-3 潰瘍性大腸炎診療への尿中PGE-MUM測定、導入初期成績の検討

加賀谷尚史（国立病院機構 金沢医療センター）

O05-4 潰瘍性大腸炎における便意切迫感と疾患活動性の関連性の検討

荻原 諒平（鳥取大学医学部附属病院）

O05-5 症候的寛解の潰瘍性大腸炎患者における患者報告アウトカムと内視鏡的活動性の関連性

大森 鉄平（東京女子医科大学病院 消化器内科、杏林大学医学部附属杉並病院 消化器内科）

O05-6 Geboes病理スコアを反映するバイオマーカーの検討

半田 修（川崎医科大学）

12：20～13：10 ランチョンセミナー3

司 会：池内 浩基（兵庫医科大学 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科）

Translational ResearchとBiologicsが切り拓いたクローン病治療の現在地

角田 洋一（東北大学大学院医学系研究科 消化器病態学分野）

共催：田辺三菱製薬株式会社

14：10～14：50 アフタヌーンセミナー3：炎症性腸疾患におけるカプセル内視鏡最新情報

司 会：大塚 和朗（東京科学大学病院 光学医療診療部）

クローン病におけるカプセル内視鏡の有用性と、カプセル内視鏡診療ガイドラインについて

大森 鉄平（杏林大学医学部附属杉並病院 消化器内科）

クローン病術後再発に関するカプセル内視鏡評価の意義に関する研究発表

江崎 幹宏 (佐賀大学医学部 内科学講座消化器内科)

共催：コヴィディエンジャパン株式会社

15：00～15：30 一般演題6

座 長：宮崎 孝子 (大阪医科薬科大学 内科学Ⅱ)
久能 宣昭 (福岡大学病院 消化器内科)

O06-1 当院で治療を開始した潰瘍性大腸炎患者における5-ASA不耐の発生状況と治療選択への影響
吉野 祐貴 (東北医科薬科大学)

O06-2 潰瘍性大腸炎患者における5ASA不耐の検査所見の検討
日比谷秀爾 (東京科学大学 消化器内科)

O06-3 潰瘍性大腸炎患者における5-ASA不耐に関する当院のリアルワールドデータ
南 尚希 (兵庫県立尼崎総合医療センター 消化器内科)

O06-4 潰瘍性大腸炎の初回5-ASA内服継続期間・不耐に対するPPI/PCAB併用の影響
小田切信介 (札幌東徳洲会病院)

O06-5 潰瘍性大腸炎における5-アミノサリチル酸製剤不耐例の臨床経過の検討
梶原真理子 (市立福知山市民病院)

15：30～16：00 一般演題7

座 長：杉村美華子 (国立病院機構 仙台医療センター 消化器内科)
菅谷 武史 (獨協医科大学 内科学 (消化器))

O07-1 潰瘍性大腸炎におけるNLR・PLR・SIIを用いたステロイド治療効果予測
遠藤 克哉 (東北医科薬科大学)

O07-2 潰瘍性大腸炎に対するブデソニド腸溶性徐放錠の治療成績と背景因子の検討
加藤 正樹 (聖マリアンナ医科大学)

O07-3 当院における軽症～中等症の潰瘍性大腸炎に対するブデソニド腸溶性徐放錠の有効性、安全性の検討
三雲 博行 (福岡大学筑紫病院 消化器内科)

O07-4 潰瘍性大腸炎に対するブデソニド腸溶性徐放錠の短期治療効果の検討
杉山 浩平 (札幌IBDクリニック 診療部、札幌中央病院 消化器内科・内視鏡内科)

- O07-5 潰瘍性大腸炎に対するブデソニド腸溶性徐放錠剤が労働生産性およびQOLに及ぼす影響についての検討
荒木 建一（聖マリアンナ医科大学）

16：00～16：30 一般演題8

座 長：山本 修司（神戸市立西神戸医療センター 消化器内科）
諸井林太郎（東北大学病院 消化器内科）

- O08-1 潰瘍性大腸炎に対するカロテグラストメチルの臨床的寛解の予測因子の検討
古谷 誠（辻仲病院柏の葉 消化器内科、辻中病院柏の葉 IBD センター）
- O08-2 当院における潰瘍性大腸炎に対するカロテグラストメチルの治療成績と有効性の検討
山下 真幸（医療法人社団 松愛会 松田病院）
- O08-3 潰瘍性大腸炎に対するカロテグラストメチルの有用性と安全性：多施設後向き研究による検討
植田 剛（佐井胃腸科・肛門科）
- O08-4 Carotegrastの潰瘍性大腸炎への短期長期成績と biologics との dual therapy
藤井 俊光（東京科学大学）
- O08-5 潰瘍性大腸炎における生物学的製剤とタクロリムス併用療法の検討
清原 裕貴（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器））

16：40～17：30 イブニングセミナー3：

腸だけで終わらせないIBD診療 - 感染症と鉄欠乏性貧血の理解と対応 -

司 会：石原聡一郎（東京大学医学部 腫瘍外科・血管外科）

腸管感染症診断の進歩と治療の実際

大毛 宏喜（広島大学病院 感染症科 教授）

炎症性腸疾患患者の鉄欠乏性貧血克服に向けて

高木 智久（京都府立医科大学大学院医学研究科／医療フロンティア展開学教室／消化器内科 准教授）

共催：ゼリア新薬工業株式会社

【第4会場】(屈斜路 (3F))

9:00~9:30 一般演題9

座長：半田 修 (川崎医科大学 消化器内科)
山口 純治 (愛知医科大学 消化管内科)

- O09-1 治療抵抗性潰瘍性大腸炎に対するトファシチニブおよびウパダシチニブによる治療効果の検討
鹿野島健二 (新百合ヶ丘総合病院、横浜栄共済病院)
- O09-2 潰瘍性大腸炎に対するJAK阻害剤治療の早期中止に関与する因子解析
倉橋 知英 (大阪労災病院)
- O09-3 潰瘍性大腸炎に対するトファシチニブおよびウパダシチニブの実臨床における有効性と寛解導入因子の検討
山下 彩子 (山下病院)
- O09-4 難治性UCに対するJAK阻害剤トファシチニブの長期有効性と安全性(減量のタイミングを含めて)
米田 頼晃 (近畿大学医学部 消化器内科)
- O09-5 潰瘍性大腸炎に対するトファシチニブ・ウパダシチニブの有効性と安全性、減量後の再燃について
小島健太郎 (岐阜大学医学部附属病院)

9:35~10:11 一般演題10

座長：尾関 啓司 (名古屋市立大学 消化器代謝内科学)
平田 有基 (大阪医科薬科大学 内科学II)

- O10-1 JAK間スイッチを行った症例についての検討
溝上 裕士 (新東京病院)
- O10-2 当院の潰瘍性大腸炎患者におけるJAK阻害薬による治療の現状
萬川 和 (尼崎総合医療センター)
- O10-3 難治性潰瘍性大腸炎に対するJAK阻害薬スイッチの有効性
原 あずさ (大阪医科薬科大学 第二内科、葛城病院 消化器内科)
- O10-4 潰瘍性大腸炎に対するJAK阻害薬切替の検討
小野 陽平 (かごしまIBD 消化器内科クリニック)

- O10-5 難治性潰瘍性大腸炎に対する JAK 阻害薬の投与直前の分子標的剤別による治療成績の検討
西俣 伸亮 (医療法人潤愛会 鮫島病院 内科)
- O10-6 潰瘍性大腸炎に対するウパダシチニブの治療成績及び JAK 阻害薬の使用歴に関する検討
柯 懿玲 (福岡大学病院)

10 : 15 ~ 10 : 51 一般演題11

座 長 : 佐々木誠人 (愛知医科大学 消化管内科)

小坂聡太郎 (大分大学医学部 消化器内科学講座)

- O11-1 急性重症潰瘍性大腸炎に対するウパダシチニブの有効性
秋田 義博 (東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科)
- O11-2 潰瘍性大腸炎に対するウパダシチニブ早期寛解導入例における維持療法の検討
玉置 敬之 (高松赤十字病院)
- O11-3 当院における潰瘍性大腸炎に対するウパダシチニブの治療成績の検討
小笠原かな子 (東北大学病院)
- O11-4 当院でウパダシチニブを使用した潰瘍性大腸炎症例について～後治療を中心に～
西垣瑠里子 (名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器・代謝内科学)
- O11-5 潰瘍性大腸炎入院例に対する Upadacitinib の短期治療成績について
小森友花子 (北里大学医学部消化器内科学)
- O11-6 中等症から重症の潰瘍性大腸炎における生物学的製剤投与歴ごとのウパダシチニブの有効性と安全性
竹内 健 (辻仲病院柏の葉 消化器内科・IBD センター)

10 : 55 ~ 11 : 25 一般演題12

座 長 : 都築 義和 (埼玉医科大学 消化管内科)

鬼澤 道夫 (福島県立医科大学附属病院 炎症性腸疾患センター)

- O12-1 実臨床における潰瘍性大腸炎に対する filgotinib 導入1年時の治療成績と治療継続率について
山田 茜 (北里大学医学部 消化器内科学)
- O12-2 当院における潰瘍性大腸炎に対するフィルゴチニブの有効性の検討
川上 研 (守口敬仁会病院)

- O12-3 難治性潰瘍性大腸炎患者に対するフィルゴチニブ減量後の臨床経過に関する検討
守屋 圭（地方独立行政法人 奈良県立病院機構 奈良県総合医療センター消化器内科）
- O12-4 当院における潰瘍性大腸炎に対する Filgotinib の治療成績の検討
中野 省吾（日本赤十字社 和歌山医療センター）
- O12-5 潰瘍性大腸炎患者に対するフィルゴチニブの安全性：特定使用成績調査（全例調査）中間報告
松岡 克善（東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科）

11：30～12：00 一般演題13

- 座 長：杉本 真也（慶応義塾大学医学部 内科学（消化器））
横山 佳浩（札幌医科大学医学部 消化器内科学講座）
- O13-1 ケモカイン CCL9 およびその受容体 CCR1 の欠損マウスを用いた炎症性腸疾患モデルの解析
鹿子嶋洋明（大分大学医学部 消化器内科学講座、大分大学医学部 感染予防医学講座）
- O13-2 潰瘍性大腸炎患者における粘膜サイトカイン発現の長期動態
村上 瑛基（京都府立医科大学）
- O13-3 喫煙状況と腸内細菌 Ruminococcus の因果の推定：メンデルランダム化研究
測上 綾子（日本鋼管病院）
- O13-4 高齢発症潰瘍性大腸炎の臨床的特徴および結腸上皮の遺伝子発現解析
伊藤 南（山形大学医学部 内科学第二講座）
- O13-5 潰瘍性大腸炎患者における大腸内視鏡下ブラシ鉗子を用いた大腸粘液内神経伝達物質解析の試み
中村 正直（名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部）

15：00～15：30 一般演題14

- 座 長：福澤 誠克（東京医科大学 消化器内科／炎症性腸疾患・良性腸疾患センター）
金城 徹（琉球大学病院 光学医療診療部）
- O14-1 活動期潰瘍性大腸炎に対するウステキヌマブの長期治療効果とその予測因子の検討
下立 雄一（倉敷中央病院 消化器内科／炎症性腸疾患センター）
- O14-2 難治性潰瘍性大腸炎に対する IL-12/23 阻害剤の治療効果予測マーカーの検討
都築 義和（埼玉医科大学 消化管内科、埼玉医科大学 総合診療内科）

- O14-3 潰瘍性大腸炎における Ustekinumab によるヘルパー T 細胞分化の変化と治療効果への影響
今津 愛介 (九州大学大学院 病態機能内科学)
- O14-4 潰瘍性大腸炎患者に対する 24 週間のグセルクマブ皮下注導入療法の有効性と安全性：第Ⅲ相 ASTRO 試験
久松 理一 (杏林大学医学部 消化器内科学)
- O14-5 QUASAR 長期継続試験の 92 週までの潰瘍性大腸炎に対するグセルクマブの有効性および安全性
久松 理一 (杏林大学医学部 消化器内科学)

15 : 35 ~ 16 : 05 一般演題 15

座 長：櫻井 俊之 (東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科)
佐藤 寿行 (兵庫医科大学 消化器内科学講座)

- O15-1 潰瘍性大腸炎に対する ミリキズマブ の寛解因子 についての検討
大森 将史 (順天堂大学医学部附属順天堂医院)
- O15-2 潰瘍性大腸炎治療における ミリキズマブ の有効性と安全性の検討 -Phoenix cohort study-
上野 伸展 (旭川医科大学 総合診療部)
- O15-3 Geboes score からみた ミリキズマブ の治療効果予測
北畑 翔吾 (愛媛県立中央病院)
- O15-4 活動性潰瘍性大腸炎患者 (日本人を含む) での ミリキズマブ による disease clearance の達成
小林 拓 (北里大学 北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター)
- O15-5 日本人を含む活動性潰瘍性大腸炎高齢患者における ミリキズマブ の検討：国際第 3 相試験 post hoc 解析
渡辺 憲治 (富山大学 炎症性腸疾患内科)

16 : 10 ~ 16 : 40 一般演題 16

座 長：井上 聡子 (神戸市立医療センター中央市民病院 消化器内科)
柿本 一城 (大阪医科薬科大学病院 内科学Ⅱ)

- O16-1 当院における潰瘍性大腸炎に対する ミリキズマブ の治療成績
種井 博紀 (東京医科大学病院)

- O16-2 潰瘍性大腸炎におけるミリキズマブ投与症例の検討
里村 康輔（金沢大学附属病院 小児成人炎症性腸疾患センター、富山県立中央病院
消化器内科）
- O16-3 潰瘍性大腸炎に対するミリキズマブの短期治療成績
平山 敦大（信州大学医学部附属病院）
- O16-4 東アジア人潰瘍性大腸炎患者に対するグセルクマブ皮下注導入療法の有効性と安全性：
ASTRO 試験
竹内 健（辻仲病院柏の葉 消化器内科 IBD センター）
- O16-5 東アジア人潰瘍性大腸炎患者に対するグセルクマブの効果：QUASAR 導入・維持試
験のサブグループ解析
猿田 雅之（東京慈恵会医科大学 内科学講座消化器・肝臓内科）

【第5会場】（北斗（5F））

9：00～9：36 一般演題17

座長：松本 啓志（川崎医科大学 消化器内科）
横山 陽子（兵庫医科大学 消化器内科学講座）

- O17-1 潰瘍性大腸炎における新規処方された5-アミノサリチル酸処方継続率（大規模データベース分析）
桑木光太郎（久留米大学医学部 公衆衛生学講座、久留米大学 内科学講座 消化器内科部門）
- O17-2 メサラジン治療における潰瘍性大腸炎の再燃予測
下山 貴寛（四日市羽津医療センター）
- O17-3 潰瘍性大腸炎患者における免疫調節薬休薬と再燃：臨床的背景の検討
小島原駿介（獨協医科大学病院）
- O17-4 IBD患者におけるチオプリン製剤による潜在性門脈類洞血管障害の抽出を目指した後ろ向きコホート研究
川島 耕作（島根大学医学部附属病院 IBD センター、島根大学医学部附属病院 消化器内科）
- O17-5 潰瘍性大腸炎患者におけるチオプリン製剤による治療に関する当院のリアルワールドデータ
藤井 美聡（兵庫県立尼崎総合医療センター）
- O17-6 潰瘍性大腸炎患者の貧血に対するカルボキシマルトース第二鉄単回投与の有効性における検討
石田 潤（聖マリアンナ医科大学病院）

9：40～10：16 一般演題18

座長：山本章二郎（宮崎大学医学部附属病院 消化器内科）
那須野正尚（札幌IBDクリニック）

- O18-1 クリニックにおける潰瘍性大腸炎に対するGMA維持療法
福知 工（福知クリニック 大阪梅田）
- O18-2 当院における血球成分除去療法（顆粒球吸着療法）寛解維持療法の成績についての検討
柳澤 秀之（JA 北海道厚生連 帯広厚生病院）
- O18-3 潰瘍性大腸炎（UC：Ulcerative colitis）における白血球除去療法の立ち位置について
伊藤亜由美（東京女子医科大学）

- O18-4 潰瘍性大腸炎患者における顆粒球吸着療法の有効性と好中球活性との関連
横山 陽子 (兵庫医科大学 医学部 消化器内科学講座)
- O18-5 潰瘍性大腸炎に対する、血液細胞除去浄化器「イムノピュア」の有用性の検討
伊藤顕太郎 (順天堂大学医学部附属順天堂医院)
- O18-6 潰瘍性大腸炎におけるイムノピュアの有効性に関連する血液学的パラメータの検討
太田 隆聖 (札幌 IBD クリニック 臨床工学部)

10：20～10：56 一般演題19

- 座 長：鶴岡ななえ (佐賀大学医学部附属病院 消化器内科)
下森 雄太 (札幌医科大学医学部 内科学講座消化器内科学分野)
- O19-1 当院における潰瘍性大腸炎のベドリズマブ治療についての検討
渡邊 賢 (神戸市立医療センター西市民病院、奈良県総合医療センター)
- O19-2 ベドリズマブにより治療された潰瘍性大腸炎における消化管超音波検査による短期治療効果判定
濱田 隆仁 (札幌 IBD クリニック 診療放射線部)
- O19-3 潰瘍性大腸炎におけるベドリズマブの有用性の検討
永田 順子 (東海大学医学部附属八王子病院)
- O19-4 潰瘍性大腸炎に対する Vedolizumab の当院での治療成績の検討
山崎 裕太 (昭和医科大学医学部 内科学講座 消化器内科学部門)
- O19-5 潰瘍性大腸炎術後の慢性回腸囊炎における Vedolizumab の有効性と安全性の検討
小原 尚 (横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科)
- O19-6 粘膜内好酸球浸潤を認める難治性潰瘍性大腸炎症例におけるウパダシチニブとベドリズマブの有用性
田中 淳也 (三菱京都病院)

11：00～11：36 一般演題20

- 座 長：松田耕一郎 (松田小児科・消化器IBDクリニック)
竹中 健人 (東京科学大学 消化器内科)
- O20-1 当院の潰瘍性大腸炎に対するカロテグラストメチルの治療成績
前田 高人 (青森県立中央病院 消化器内科、弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座)

- O20-2 潰瘍性大腸炎におけるカロテグラストメチルの有効性と再燃に関する検討
伊藤 貴博 (札幌東徳洲会病院 IBD センター)
- O20-3 カロテグラストメチルによる中等症潰瘍性大腸炎の治療成績と課題
福生 有華 (順天堂大学練馬病院 消化器内科)
- O20-4 当院での潰瘍性大腸炎に対するカロテグラストメチルを用いた治療の現状
仲地健一郎 (亀田総合病院)
- O20-5 日本人潰瘍性大腸炎患者に対する ozanimod の労働生産性および日常活動性の改善への影響
仲瀬 裕志 (札幌医科大学医学部 消化器内科学講座)
- O20-6 S1P_{1,4,5} 受容体調節薬エトラシモドの中等～重症潰瘍性大腸炎における日本人長期安全性プロファイル
竹内 健 (辻仲病院柏の葉)

11:40～12:16 一般演題21

座長：細見 周平 (大阪公立大学大学院医学研究科 消化器内科学)
原 あずさ (葛城病院 消化器内科)

- O21-1 Leucine-rich alpha-2 glycoprotein 値と潰瘍性大腸炎の疾患活動性との関係
堀川はるな (京都府立医科大学大学院 医学研究科 消化器内科)
- O21-2 LRG と便中マーカーによる直腸炎型潰瘍性大腸炎の内視鏡的炎症検出能の比較
森田 翔一 (四日市羽津医療センター)
- O21-3 LRG・従来のバイオマーカーと SCCAI による活動性評価の関連性の検討
添田 敦子 (筑波記念病院 消化器内科)
- O21-4 潰瘍性大腸炎の Treat to Target 治療 - LRG の臨床的意義 -
今井 雄史 (山梨県立中央病院)
- O21-5 潰瘍性大腸炎におけるロイシンリッチ α 2 グリコプロテインと組織学的活動性の相関について
土屋 智章 (信州大学附属病院)
- O21-6 寛解期潰瘍性大腸炎(UC)における免疫制御療法毎の尿・血清・糞便マーカー測定値に関する比較検討
米澤 瑞華 (加古川中央市民病院 消化器内科)

15：00～15：25 一般演題22

座長：守屋 圭（地域独立行政法人奈良県立病院機構 奈良県立総合医療センター 消化器内科）
伊藤亜由美（東京女子医科大学 消化器内科）

- O22-1 潰瘍性大腸炎治療中に膿疱性乾癬を合併し、5-ASA 誘発性薬剤性肺炎を発症した稀な一例
赤岡 大地（山梨県立中央病院）
- O22-2 サラゾスルファピリジンにて薬剤性過敏症症候群を来した潰瘍性大腸炎の1例
岩崎 梨奈（浦添総合病院 消化器内科）
- O22-3 MMX メサラジン放出調節製剤により薬剤性好酸球性肺炎を来した潰瘍性大腸炎の1例
西井 比呂（JA 神奈川厚生連相模原協同病院 初期臨床研修医）
- O22-4 ヤヌスキナーゼ阻害剤治療中に薬剤誘発性リンパ球刺激試験(DLST)陽性を示した潰瘍性大腸炎の3症例
八木澤啓司（札幌東徳洲会病院 薬剤部）
- O22-5 メサラジン誘発性心筋炎に対してウパダシチニブを導入し寛解を得た潰瘍性大腸炎の1例
田中 太郎（明石医療センター）

15：30～15：55 一般演題23

座長：大北 喜基（三重大学大学院医学系研究科 消化管・小児外科）
品川 貴秀（東京大学 腫瘍外科）

- O23-1 直腸腔瘻を伴った複雑痔瘻に対してダルバストロセルを2回投与し症状改善が得られたクローン病患者の1例
内田久美子（東京医科大学病院）
- O23-2 クローン病経過中に診断された直腸肛門部癌の1例
泉 陽光（獨協医科大学 下部消化管外科・一般外科）
- O23-3 終末回腸の主病変と重複腸管との間に内瘻を形成した小腸型クローン病の一例
金 諒（東北医科薬科大学 消化器内科）
- O23-4 横行結腸瘻-十二指腸瘻に対して手術を行ったクローン病の1例
中島 清貴（兵庫医科大学病院）
- O23-5 クローン病難治性複雑痔瘻の1例
後藤田美優（浦添総合病院 消化器病センター外科）

16:00~16:25 一般演題24

座 長：岩間 達 (埼玉県立小児医療センター 消化器・肝臓科)
清水 泰岳 (国立成育医療センター消化器科/小児IBDセンター)

O24-1 腹部症状を示さず体重増加不良と口唇腫脹を契機に診断された小児クローン病
濱端 隆行 (倉敷中央病院 炎症性腸疾患センター、倉敷中央病院 小児科)

O24-2 演題取り下げ

O24-3 USTとGMAで寛解導入したPartial Mayo ScoreとPUCAIが乖離した思春期UC例
堤 範音 (東京医科大学病院 小児科・思春期科、東京医科大学病院 炎症性腸疾患
(IBD)・良性腸疾患センター)

O24-4 免疫性血小板減少性を合併した小児難治性潰瘍性大腸炎
山中 希 (大原記念倉敷中央医療機構倉敷中央病院)

O24-5 成人科移行に伴い治療変更が難渋し腸管穿孔に至った小腸大腸クローン病の女性
山下 貴大 (熊本赤十字病院こども医療センター 小児科)

プログラム 8月23日(土)

【第1会場】(美瑛(6F))

8:00~8:40 モーニングセミナー3

司 会：前本 篤男(札幌東徳洲会病院 IBDセンター)

日本の炎症性腸疾患治療における課題と展望

竹内 健(辻仲病院柏の葉 消化器内科・IBDセンター)

共催：サンド株式会社

8:50~10:20 シンポジウム2 (Part I)

Treat to Target 治療戦略時代のリアルワールドデータ

司 会：新崎信一郎(兵庫医科大学医学部 消化器内科学講座)

荻野 治栄(九州大学大学院医学研究院 消化器代謝学講座)

安藤 勝祥(旭川医科大学内科学講座 消化器内科学分野)

SY2-1-1 潰瘍性大腸炎における粘膜治癒・組織学的治癒達成と5-ASA減量後の再燃リスクの関連

古田 陽輝(熊本大学病院 消化器内科)

SY2-1-2 Advanced Therapy導入後の潰瘍性大腸炎患者における5-ASA中止の有効性と安全性

佐野 泰樹(関西医科大学)

SY2-1-3 潰瘍性大腸炎患者におけるカロテグラストメチルの有効性

小柴 良司(大阪医科薬科大学)

SY2-1-4 BS薬剤投与継続率及び非継続予測因子について単施設後ろ向きコホート研究

金岩 弘樹(名古屋市立大学病院)

SY2-1-5 減量・中止例からみた潰瘍性大腸炎に対するJAK阻害剤3剤の有効性：北海道Phoenixコホート

坂谷 慧(旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野)

SY2-1-6 潰瘍性大腸炎に対するMirikizumabのリアルワールドにおける有効性と安全性の検討

高木 康宏(兵庫医科大学 消化器内科学講座)

SY2-1-7 小児潰瘍性大腸炎(UC)に対するミリキズマブ(MIRI)のReal World Data

神保 圭佑(順天堂大学小児科)

SY2-1-8 クロウン病患者に対するベドリズマブの当院における治療成績

小林由美恵（大阪公立大学大学院医学研究科）

SY2-1-9 活動期クロウン病に対するウパダシチニブの寛解導入効果と安全性

才木 琢登（九州大学大学院 病態機能内科学）

SY2-1-10 クロウン病に対するリサンキズマブの有用性と安全性の検討-Phoenix Cohort Study-

横山 佳浩（札幌医科大学 医学部 消化器内科学講座）

SY2-1-11 クロウン病術後再発予防における抗TNF製剤、ウステキヌマブ、ベドリズマブの実臨床成績

西川 貴広（社会医療法人宏潤会大同病院 消化器内科）

10：30～11：15 スポンサーセッション1

司 会：日比 紀文（慶應義塾大学 名誉教授）

Targeting inflammation at its source:the role of innate immune system

Prof. Saurabh Mehandru (Director, Helmsley IBD Research Center Icahn School of Medicine at Mount Sinai, New York, United States)

共催：株式会社JIMRO

11：20～12：10 プレナリーセッション

司 会：梅野 淳嗣（九州大学大学院 病態機能内科学）

梁井 俊一（岩手医科大学 内科学講座 消化器内科分野）

PS-1 超早期発症型潰瘍性大腸炎の発症における母体マイクロキメリズムの関与について：多施設後方視的研究

戸田 方紀（順天堂大学 小児科）

PS-2 超早期発症型炎症性腸疾患の臨床像と予後

木村 拓（久留米大学医学部 小児科学講座）

PS-3 ブデソニド腸溶徐放性カプセル製剤内服下における生ワクチンの接種の安全性と抗体陽性転化率に関する検討

岩下 祐子（東京慈恵会医科大学附属柏病院）

PS-4 チオプリン製剤内服中の母親から出生し、新生児マススクリーニングでB細胞指標が陰性となった双胎児の2例

春山 芹奈（横浜市立大学附属市民総合医療センター IBD センター）

PS-5 ウステキヌマブ治療後のクローン病患者に対するリサンキズマブの有効性

太田 真二 (弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座、弘前大学大学院医学系研究科 総合地域医療推進学講座)

12:20~13:10 ランチョンセミナー4

司 会：穂苅 量太 (防衛医科大学校 内科学講座 (消化器))

潰瘍性大腸炎内科治療の最前線 ～新たなSegment 1p 受容体調節薬Etrasimod*を中心に～

中村 志郎 (互惠会 大阪回生病院 消化器内科 IBD センター長)

共催：ファイザー株式会社

13:20~14:50 シンポジウム3:IBD基本治療の現状と課題

司 会：杉本 健 (浜松医科大学 内科学 第一講座)

松浦 稔 (杏林大学医学部 消化器内科学)

志賀 永嗣 (東北大学病院 消化器内科)

SY3-1 5-アミノサリチル酸不耐症を有する潰瘍性大腸炎患者の頻度と臨床転帰：多施設共同I-BRITE研究

城山真美子 (筑波大学医学医療系 消化器内科)

SY3-2 5ASA 製剤不耐潰瘍性大腸炎患者における脱感作療法の有用性とその後の予後の検討

木下 賢治 (市立函館病院 消化器内科)

SY3-3 潰瘍性大腸炎患者5-ASA 不耐例の患者背景および長期予後についての検討

大野 将司 (滋賀医科大学)

SY3-4 潰瘍性大腸炎の寛解導入療法におけるステロイド投与期間・減量速度と再燃に関する検討

坂上 純也 (倉敷中央病院)

SY3-5 コルチコステロイド(CS)療法が潰瘍性大腸炎後方治療に及ぼす影響

横尾 貴史 (社会医療法人健生会 土庫病院 消化器・肛門病センター)

SY3-6 NUDT15酵素活性測定によるチオプリン製剤投与テーラーメイドの試み

梅田 智子 (北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター)

SY3-7 潰瘍性大腸炎治療におけるベドリズムマブに併用したアザチオプリンの減量・中止による影響の検討

大岡 達子 (広島大学病院 消化器内科)

SY3-8 炎症性腸疾患に対するウステキヌマブおよびベドリズマブ療法における5-ASA併用の効果

細見 周平 (大阪公立大学大学院医学研究科)

SY3-9 IBDに対する生物学的製剤使用時の5-ASA製剤併用の意義

大坂 龍也 (東北大学病院 消化器内科)

15:10～15:50 アフタヌーンセミナー4: UC Evolve～患者さんに合った最良の治療を考える～

司 会: 杉本 健 (浜松医科大学 内科学第一講座)

低分子化合物の立場から

園田 光 (東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科)

生物学的製剤の立場から

筋野 智久 (慶應義塾大学医学部/坂口記念・消化器生体多次元解析講座)

共催: アツヴィ合同会社

16:00～17:30 ワークショップ4:

炎症性腸疾患関連腫瘍の診断と治療 ～外科・内科の立場から～

司 会: 酒匂美奈子 (JCHO東京山手メディカルセンター 炎症性腸疾患内科)

藤井 俊光 (東京科学大学 消化器内科)

荻野 崇之 (大阪大学大学院医学系研究科 消化器外科)

渡辺 憲治 (富山大学 炎症性腸疾患内科)

WS4-1 潰瘍性大腸炎における新規治療薬の導入と潰瘍性大腸炎関連腫瘍の発生動向

下山 雄丞 (東北大学病院)

WS4-2 当院における潰瘍性大腸炎に合併した大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術 (ESD) の治療成績と課題

川田 雄三 (新潟大学医歯学総合研究科 消化器内科)

WS4-3 潰瘍性大腸炎関連大腸腫瘍の実体顕微鏡観察

小松 更一 (東京大学 腫瘍外科)

WS4-4 IBD患者に発生した進行期大腸癌の臨床的特徴と治療成績

臺 一樹 (旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野)

WS4-5 潰瘍性大腸炎関連腫瘍の術後フォローアップの検討

茂田 浩平 (慶應義塾大学医学部 一般・消化器外科)

WS4-6 クロウン病関連大腸腫瘍診断の現状と課題

高橋 賢一（東北労災病院 炎症性腸疾患センター）

WS4-7 クロウン病関連大腸腫瘍の診断と治療成績の時代別変遷

辰巳 健志（横浜市立市民病院 炎症性腸疾患科）

WS4-8 クロウン病に合併した直腸肛門管癌におけるMRI検査の特徴的所見

堀尾 勇規（兵庫医科大学病院 炎症性腸疾患外科）

17：30～17：50 表彰式・閉会の辞

・表彰式

・閉会の辞

次回会長：平井 郁仁（福岡大学医学部 消化器内科学講座）

【第2会場】(大沼 (3F))

8:00~8:40 モーニングセミナー4

司 会：金井 隆典（慶應義塾大学医学部 内科学(消化器)）

UC治療の新しい選択肢—エビデンスから紐解くゼポジアの特徴と適正使用—

小林 拓（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社

8:50~10:20 パネルディスカッション3：ビデオで学ぶIBD診療の実際

司 会：江崎 幹宏（佐賀大学医学部 内科学講座消化器内科）

内野 基（兵庫医科大学 消化器外科学講座 炎症性腸疾患外科）

佐上晋太郎（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

PD3-1 内科医と共有したいIBDに対する腹腔鏡手術の現状と問題点

桑原 隆一（兵庫医科大学）

PD3-2 IBD手術での術中内視鏡検査の実際

松田 圭二（同愛記念病院 外科）

PD3-3 クロウン病に対する狭窄形成術の実際

皆川 知洋（富山大学 消化器・腫瘍・総合外科、富山大学附属病院 IBD センター）

PD3-4 肛門科におけるクロウン病診療

三枝 直人（特定医療法人衆済会 増子記念病院、医療法人社団俊雄会 三枝クリニック）

PD3-5 クロウン病合併痔瘻に対する再生医療ダルバドストロセルの効果

高野 正太（大腸肛門病センター高野病院）

PD3-6 潰瘍性大腸炎診療を変える腸管エコー：ビデオで見る経会陰アプローチの実践例

渋谷 俊祐（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

PD3-7 潰瘍性大腸炎関連腫瘍に対する内視鏡診断・治療の実際

高林 馨（慶應義塾大学医学部 内視鏡センター）

PD3-8 クロウン病に対する小腸狭窄バルーン拡張術

竹中 健人（東京科学大学病院）

10:30~11:15 スポンサーセッション2

司 会：緒方 晴彦（藤田医科大学東京 先端医療研究センター 消化器内科学）

日本発のクローン病治療 T2T ストラテジー
 ～術後CD患者の治療強化の基準は何か？～
 ～肛門病変を有するCD患者への治療強化基準は何か？～
 渡辺 憲治（富山大学附属病院 炎症性腸疾患内科）

共催：アッヴィ合同会社

11：20～11：45 日本炎症性腸疾患学会 派遣医師参加報告

司 会：長堀 正和（東京科学大学病院 ヘルスサイエンス R&D センター）

RE2-1 Machine learning to predict the efficacy of ustekinumab for ulcerative colitis.
 森久保 拓（杏林大学医学部 消化器内科学）

RE2-2 Clinical features of pediatric ulcerative colitis with atypical endoscopic findings
 宮崎はる香（神戸大学大学院 医学研究科 内科学講座 消化器内科学分野）

RE2-3 Accuracy and feasibility of home-based measurement of fecal immunochemical test
 in patients with ulcerative colitis
 青山 祐樹（岡山大学病院 消化器内科）

11：50～12：10 日本炎症性腸疾患学会 IID誌学会賞 表彰式

12：20～13：10 ランチョンセミナー5：IBD診療におけるIL-23p19阻害剤オンボアの最適化

司 会：櫻庭 裕丈（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座）

オンボアの特性と使用経験を考慮したUC治療へのアプローチ
 安藤 勝祥（旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野）

CD内科治療におけるオンボアの可能性
 中村 正直（名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部）

共催：持田製薬株式会社

13：20～14：50 パネルディスカッション4
 IBD患者に寄り添うケア：メディカルスタッフが抱える困難とその解決策

司 会：上野 伸展（旭川医科大学 総合診療部）
 霍田 菊代（大腸肛門病センター高野病院）
 中村 健志（島根大学医学部附属病院 薬剤部）

特別発言：日比 紀文（慶應義塾大学 名誉教授）

PD4-1 炎症性腸疾患患者に対する患者指導の実態把握と今後の課題

松尾 慶子（国家公務員共済組合連合会共済病院 看護部）

PD4-2 AYA世代のIBD患者への医師・助産師によるプレコンセプション・ケア

西村 明子（兵庫医科大学看護学部）

PD4-3 小児炎症性腸疾患患者に関する医教連携の取り組み～MSWの立場から～

曾我比呂子（倉敷中央病院 炎症性腸疾患センター、倉敷中央病院 医療福祉相談グループ）

PD4-4 炎症性腸疾患の薬物療法における薬剤師の知識の実態調査と均てん化に向けた取り組み

中野 敬太（札幌医科大学附属病院 薬剤部）

PD4-5 薬剤師外来は炎症性腸疾患患者の服薬アドヒアランスを向上させる

岩山 訓典（北海道科学大学 薬学部、旭川医科大学病院 薬剤部）

PD4-6 炎症性腸疾患領域における皮下注射製剤の抱える問題点～疼痛/恐怖心と製剤継続意欲の関係性を検証する～

須田亜夏子（JCHO 東京山手メディカルセンター 看護部）

PD4-7 地方大学病院における小児IBDへの取り組み

～管理栄養士の視点より多職種との連携構築を含め～

政岡紗矢香（高知大学医学部附属病院 栄養管理部）

PD4-8 GMA治療に関わる身近なメディカルスタッフの、IBD患者の想いに寄り添った取り組み

柳澤 一樹（JA 長野厚生連佐久総合病院佐久医療センター 診療協力部 臨床工学科）

PD4-9 日本における炎症性腸疾患診療のチーム医療の現状および課題に関する全国実態調査

中村 健志（島根大学医学部附属病院 IBD センター）

15：00～15：10 ポスター発表（医学生）表彰式

15：10～15：50 アフタヌーンセミナー5

司 会：飯島 英樹（大阪けいさつ病院 消化器内科）

潰瘍性大腸炎治療におけるAnchor Drugの重要性

齋藤 大祐（杏林大学医学部 消化器内科）

共催：杏林製薬株式会社

16：00～17：10 日本炎症性腸疾患学会 研究助成成果報告

司 会：石原総一郎（東京大学 腫瘍外科）

岡本 隆一（東京科学大学大学院 消化器病態学）

RE1-1 新たな炎症性腸疾患動物モデルの解析による、その病態解明と治療法の開発

前田 啓子（名古屋大学医学部附属病院 消化器内科）

RE1-2 炎症性腸疾患の炎症・線維化・発癌過程 におけるゴルジ体ストレス応答の役割

井原聡三郎（東京大学 消化器内科）

RE1-3 クロウン病における病原性共生菌 AIEC の起源の解明

今井 仁（東海大学医学部 総合診療学系健康管理学）

RE1-4 免疫組織学的検討による潰瘍性大腸炎における発癌高リスク群の予測

品川 貴秀（東京大学 腫瘍外科）

RE1-5 リキッドバイオプシーを用いたIBDの新規分子マーカーの探索

清原 裕貴（慶應義塾大学医学部 内科学（消化器））

RE1-6 クロウン病特有の変化を来した腸管膜及びリンパ節に注目したクロウン病の病態解明研究

関戸 悠紀（大阪大学 消化器外科）

RE1-7 炎症性腸疾患発症前コホートとメンデルランダム化併用プロテオーム解析

内藤 健夫（東北大学 消化器内科）

RE1-8 超早期発症型炎症性腸疾患におけるワクチン接種の安全性および有効性に関する多機関共同研究

肥塚慶之助（大阪母子医療センター 消化器・内分泌科）

RE1-9 新規イメージング技術を用いたニッチにおける腸炎惹起性メモリーT細胞ダイナミクスの時空間解析

根本 泰宏（東京科学大学大学院医歯学総合研究科 消化器病態学）

17：10～17：30 日本炎症性腸疾患学会

ファイザー教育助成プログラム 表彰式

【第3会場】(大雪 (6F))

8:00~8:40 モーニングセミナー5:

潰瘍性大腸炎の治療戦略～baselineからadvanced therapyまで～

司 会：平岡佐規子（岡山大学病院 炎症性腸疾患センター）

治療指針からみるUC基本治療

松浦 稔（杏林大学医学部 消化器内科学）

重症・難治UC治療のアップデートー変化する治療選択と実臨床での展開ー

加藤 真吾（埼玉医科大学総合医療センター 炎症性腸疾患（IBD）センター 消化器・肝臓内科）

共催：持田製薬株式会社

8:50~9:20 一般演題25

座 長：松島加代子（長崎大学病院 消化器内科／医療教育開発センター）

山崎 博（医療法人南溟会 はくあいクリニック 消化器内科）

O25-1 慢性疾患看護専門看護師によるIBD患者を対象とした看護外来の実際

乾 彰弘（兵庫医科大学病院 看護部）

O25-2 IBDチーム活動における病棟看護師の知識と意識の変化～若手看護師を巻き込んで～

岡田 和美（国家公務員共済組合連合会呉共済病院 看護部）

O25-3 潰瘍性大腸炎の症状増悪に対する看護師の診察前介入と緊急腸管超音波検査後の転帰

酒井 友紀（京都第二赤十字病院 看護部）

O25-4 山形地区における炎症性腸疾患病診連携ネットワーク（IGATA NET）の現状

名木野 匡（山形県立中央病院 消化器内科）

O25-5 IBD専門外来を有していない病院での体調確認票の導入後の効果について

～医療者へのアンケート結果から～

桂田 和美（市立札幌病院 看護部）

9:25~9:50 一般演題26

座 長：清原 裕貴（慶應義塾大学医学部 内科学(消化器)）

阪上佳誉子（医療法人錦秀会インフュージョンクリニック）

O26-1 IBDナースによる診察前問診により明らかになった患者からのIBD診療への要望

筑後 恵美（辻仲病院 柏の葉）

- O26-2 IBD患者の看護相談内容の年代別検討と今後の課題
ー病との付き合い方についてー
橋詰 尚子（兵庫県立はりま姫路総合医療センター）
- O26-3 IBD多職種チームでの活動と臨床調査個人票作成支援の工夫と改善
岩崎 華江（京都第二赤十字病院 診療支援課）
- O26-4 炎症性腸疾患患者による電話相談に対応する看護師が認識する有用性と課題
川上 明希（東京科学大学）
- O26-5 潰瘍性大腸炎患者に対する鍼灸治療の臨床応用：多職種連携における課題と展望
石井 祐三（東北大学大学院医学系研究科 地域総合診療医育成寄附講座、東北大学病院 総合地域医療教育支援部・漢方内科）

9：55～10：15 一般演題27

座 長：今井 隆行（滋賀医科大学 消化器内科）
稲場 勇平（市立旭川病院 IBDセンター）

- O27-1 潰瘍性大腸炎に対して生物学的製剤治療中に粟粒結核を発症した一例
中村 隼人（帯広協会病院）
- O27-2 QFT陰性の難治性潰瘍性大腸炎にUPA投与後、脊椎カリエスを発症した一例
水野紗也香（昭和医科大学医学部 内科学講座 消化器内科学部門）
- O27-3 ウパダシチニブ治療中に形態の異なるアスペルギルス症を発症した潰瘍性大腸炎の2例
高野 純礼（松阪市民病院 消化器内科）
- O27-4 帯状疱疹に続き、脳脊髄炎、水痘肺炎を来したクローン病の一例
八木 周（山形大学医学部附属病院 光学医療診療部）

10：30～11：15 シンポジウム2 (Part II)

Treat to Target治療戦略時代のリアルワールドデータ

司 会：本谷 聡（札幌厚生病院 消化器内科 (IBDセンター)）
桂田 武彦（北海道大学病院 光学医療診療部）

- SY2-2-1 CRP陰性潰瘍性大腸炎における治療前LRG値によるAdvanced therapyの治療選択
天野 孝広（市立池田病院 消化器内科）
- SY2-2-2 潰瘍性大腸炎における内視鏡スコア、病理学的スコアとバイオマーカーの相関：治療背景別の比較分析
高橋 賢一（浜松医科大学 第一内科）

- SY2-2-3 当院のUCに対するLRG、尿中PGE-MUMを含めたバイオマーカーと内視鏡所見, 病理学的所見の関係
河野 匡志 (近畿大学病院)
- SY2-2-4 炎症性腸疾患のバイオマーカーにおける血清アミロイドAの有用性の検討
秋田浩太郎 (札幌医科大学 消化器内科学講座)
- SY2-2-5 活動期潰瘍性大腸炎の疾患難治性予測における抗インテグリン $\alpha v \beta 6$ 抗体の測定意義に関する検討
北本 博規 (京都大学医学部附属病院)
- SY2-2-6 バルーン内視鏡検査によるクローン病の内視鏡的寛解予測における血清LRGと便中カルプロテクチンとの比較
川島 耕作 (島根大学医学部附属病院 IBD センター、島根大学医学部 内科学第二)

11:20~11:50 一般演題28

座長：吉岡 京子 (呉共済病院 消化器内科)

久野 徹 (山梨大学医学部 消化器内科)

O28-1 医療従事者を対象としたIBD両立支援確立に向けた教育プログラムの有用性

上野 伸展 (旭川医科大学病院 総合診療部、旭川医科大学 消化器疾患病態学講座)

O28-2 治療と仕事の両立に伴う患者の自己評価と要因

道土井優希 (国家公務員共済組合連合会 呉共済病院)

O28-3 炎症性腸疾患センター専任MSWの取り組み－療養・就労両立支援指導料の算定に向けた試み－

小原 由里 (藤沢湘南台病院)

O28-4 炎症性腸疾患患者を対象にした看護師の両立支援の実施状況の調査

太田 千尋 (旭川医科大学病院)

O28-5 多施設・多職種カンファレンスによる炎症性腸疾患患者の仕事と治療の両立を推進するプロジェクト

深田 晃生 (大阪大学大学院医学系研究科 外科学講座 消化器外科学)

11:50~12:10 一般演題29

座長：池田 礼 (横浜市立大学附属病院 消化器内科)

平山 大輔 (市立室蘭総合病院 消化器内科)

O29-1 遺残尿管に化膿性肉芽腫を形成したクローン病の1例

西脇 拓郎 (亀田総合病院 消化器内科)

- O29-2 クロウン病合併痔瘻に対するウパダシチニブの経験
高野 正太 (大腸肛門病センター高野病院)
- O29-3 嚥下障害を契機に診断されたクロウン病の1例
辻 優美 (東海大学医学部内科学系 消化器内科学)
- O29-4 カプセル内視鏡の滞留により小腸穿孔を来したクロウン病の1例
永村 良二 (沖縄協同病院)

12:20~13:10 ランチョンセミナー6

司 会：渡辺 守 (順天堂大学大学院医学研究科 オルガノイドセンター)

成人短腸症候群患者における静脈栄養量と日常生活への影響
—レベスティブの投与意義を探る

渡辺 和宏 (東北大学病院 総合外科)

短腸症候群の回避を目指したクロウン病治療戦略

新崎信一郎 (兵庫医科大学医学部 消化器内科学講座)

共催：武田薬品工業株式会社

13:20~13:50 一般演題30

座 長：林田 真理 (杏林大学医学部 消化器内科学)
岡 明彦 (島根大学医学部 内科学講座 内科学第二)

- O30-1 多発血管炎性肉芽腫症に対する治療により寛解導入を得られた潰瘍性大腸炎の一例
金澤 義丈 (柏厚生総合病院)
- O30-2 潰瘍性大腸炎に皮下・筋肉内限局性血管炎を合併した一例
稲垣 尚子 (横浜市立大学附属病院、藤沢市民病院)
- O30-3 高齢発症大動脈炎合併潰瘍性大腸炎の一例
三井康太郎 (NHO 弘前総合医療センター)
- O30-4 バセドウ病を併発した炎症性腸疾患5例
舟崎 巧 (国家公務員共済組合連合会 呉共済病院)
- O30-5 初発潰瘍性大腸炎に合併した線状IgA水疱性皮膚症 (LABD)の1例
鈴木 英之 (塩田記念病院)
- O30-6 当院での脊椎関節炎に合併した炎症性腸疾患の検討
児玉 亮 (南長野医療センター篠ノ井総合病院)

13：55～14：20 一般演題31

座 長：富永顕太郎（新潟大学医歯学総合病院 消化器内科）
福田 知広（一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院 消化器内科）

- O31-1 長期寛解中の潰瘍性大腸炎に巨大なびまん性大細胞型B細胞リンパ腫を生じた高齢女性の1例
菊川 翔馬（奈良県総合医療センター）
- O31-2 悪性リンパ腫に対し同種末梢血幹細胞移植後に drug free で完全寛解が得られた潰瘍性大腸炎の1例
西田 紘司（兵庫県立尼崎総合医療センター 消化器内科）
- O31-3 潰瘍性大腸炎の治療中に発症したEBV 関連形質芽球性リンパ腫の一例
村山 洋子（市立伊丹病院 消化器内科）
- O31-4 8番染色体異常を有する急性骨髄性白血病と腸管ペーチェット病様消化管病変を併発した潰瘍性大腸炎の1例
寺師 尚平（大分大学医学部 消化器内科学講座）
- O31-5 急速に進行した4型大腸癌を併発した潰瘍性大腸炎の一例
石野 博崇（順天堂大学医学部附属浦安病院）

14：25～14：50 一般演題32

座 長：冬野 雄太（福岡赤十字病院 消化器内科）
小島健太郎（岐阜大学医学部 第一内科）

- O32-1 口腔・咽頭病変を伴った潰瘍性大腸炎の2例
白木 学（東北労災病院）
- O32-2 大腸全摘術後に潰瘍性大腸炎関連胃十二指腸炎を発症しタクロリムスで治療した一例
藤本 晃士（大阪公立大学大学院医学系研究科消化器内科学）
- O32-3 潰瘍性大腸炎に関連した十二指腸病変の寛解導入及び維持に Filgotinib が寄与した1例
柏木 光寛（守口敬仁会病院 消化器内科、兵庫県立尼崎総合医療センター 消化器内科）
- O32-4 潰瘍性大腸炎に対する JAK 阻害薬内服中に食道潰瘍を発症した一例
横井 美咲（兵庫県立はりま姫路総合医療センター 消化器内科）
- O32-5 生物学的製剤切り替え後に口内炎・咽喉頭炎・食道炎を来した潰瘍性大腸炎の1例
亀島 祐貴（刈谷豊田総合病院）

15：10～15：50 アフタヌーンセミナー6

司 会：田中 浩紀（医療法人 札幌IBDクリニック）

潰瘍性大腸炎における血球成分除去療法の位置づけ～当院臨床研究データを踏まえて～

伊藤顕太郎（順天堂大学医学部附属 順天堂医院 消化器内科）

共催：日機装株式会社

16：00～16：36 一般演題33

座 長：林 智之（金沢大学附属病院 消化器内科）

菓 裕貴（鳥取大学医学部附属病院 消化器内科）

O33-1 薬剤師が炎症性腸疾患患者に実施した共同意思決定への患者満足度と支払い意思の調査

小中ももこ（クオール株式会社）

O33-2 自己注射製剤のアドヒアランス向上にむけた薬剤師の関わり

藤林 遼（北海道消化器科病院）

O33-3 炎症性腸疾患の薬剤師外来における共同意思決定と患者の価値観の調査

平田 一耕（医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 薬剤部、医療法人鉄蕉会 亀田クリニック 薬剤室）

O33-4 クロウン病患者におけるリサンキズマブ皮下注オートドーズによる投与トラブルの頻度とリスク因子の検討

佐藤 将嗣（辻仲病院柏の葉 診療技術部薬剤科）

O33-5 IBDチームにおける薬剤師の取り組み

松本ほおみ（京都第二赤十字病院 薬剤部）

O33-6 クロウン病・潰瘍性大腸炎におけるバイオシミラー切り替え非同意例の臨床的特徴

池田 有希（倉敷中央病院）

16：40～17：05 一般演題34

座 長：長島 一哲（NTT東日本札幌病院 消化器内科）

西垣瑠里子（名古屋市立大学大学院医学研究科 消化器代謝内科学）

O34-1 潰瘍性大腸炎に対しメサラジン、アザリオプリン投与中に急性膵炎を発症し2型自己免疫性膵炎と診断した一例

山本 悠貴（戸田中央総合病院、東京医科大学病院）

- O34-2 ベドリズマブの皮下注射で注射部位反応を来し、点滴投与に戻した所、蕁麻疹を発症した潰瘍性大腸炎の一例
西野 麻美（藤沢湘南台病院）
- O34-3 ウパダシチニブアレルギーを生じた潰瘍性大腸炎の1例
班目 明（新座志木中央総合病院、東京医科大学病院）
- O34-4 vedolizumab皮下注射から点滴注射への投与経路変更後に薬疹をきたした潰瘍性大腸炎の2例
酒見 亮介（酒見内科胃腸科医院、戸畑共立病院）
- O34-5 アダリムマブ投与中に消化器・皮膚・関節症状を認め、クローン病再燃との鑑別に苦慮したIgA血管炎の一例
山本晴二郎（国立病院機構東京医療センター）

17：10～17：30 一般演題35

座 長：小田切信介（北海道大学病院 消化器内科）

青木 康浩（独立行政法人国立病院機構東京医療センター 消化器内科）

- O35-1 JAK阻害剤使用中に大動脈解離を発生した潰瘍性大腸炎の一例
松川 力嗣（呉共済病院）
- O35-2 潰瘍性大腸炎に脳静脈洞血栓症を合併した一例
比留間智紀（国家公務員共済組合平塚共済病院）
- O35-3 高安動脈炎を合併した炎症性腸疾患の2症例
有賀 啓之（筑波大学附属病院水戸地域医療教育センター 水戸協同病院 消化器内科）
- O35-4 高安動脈炎を合併したクローン病の2例
持丸 友昭（福島県立医科大学医学部 消化器内科学講座）

【第4会場】(屈斜路 (3F))

8:50~9:20 一般演題36

座長：馬場 重樹（滋賀医科大学医学部 基礎看護学講座（内科学・栄養学））
鎌田 紀子（医療法人弘仁会 てんのうじ消化器・IBDクリニック 内科）

O36-1 大学病院における小児クローン病に対する栄養指導の実態調査
八木 龍介（群馬大学医学部附属病院）

O36-2 クローン病患者に対する、経鼻エレンタール治療の指導
藤原 恵子（医療法人愛知会家田病院 看護部）

O36-3 炎症性腸疾患患者における日本食スコアを用いた食事評価と関連要因の検討
井上 拓也（いのうえ消化器内科クリニック、大阪医科薬科大学 第二内科）

O36-4 生物学的製剤で寛解中のクローン病患者における食事認識と再燃リスク：レトロスペクティブコホート研究
田中 真琴（東京科学大学保健衛生学研究科、錦秀会インフュージョンクリニック）

O36-5 潰瘍性大腸炎患者における生活満足度の比較と支援の方向性の検討
北村 文乃（株式会社おいしい健康）

9:25~9:55 一般演題37

座長：三島 義之（島根大学医学部 内科学講座第2）
沖 裕昌（高知大学医学部附属病院 消化器内科）

O37-1 抗TNF- α 抗体製剤による維持療法中のクローン病における身体計測および体組成の検討
五十嵐加奈（札幌IBDクリニック 臨床栄養部）

O37-2 炎症性腸疾患患者における便意切迫感と疾患活動性の関連について
羽田 愛（国家公務員共済組合連合会呉共済病院 看護部）

O37-3 炎症性腸疾患患者の恋愛や性に関する悩みと支援ニーズの実態調査
若井さやか（東京科学大学大学院保健衛生学研究科 成人看護学分野）

O37-4 生物学的製剤/Janus kinase阻害剤を使用している炎症性腸疾患患者の治療体験
貝津 里乃（医療法人 錦秀会 インフュージョンクリニック、関西医科大学）

O37-5 感情の放出により腹痛が消失した潰瘍性大腸炎患者との心理療法の1事例
吉田 愛（錦秀会インフュージョンクリニック）

10：00～10：20 一般演題38

座長：中村 正直（名古屋大学医学部附属病院 光学医療診療部）
中村 美咲（三重大学医学部附属病院 光学医療診療部）

- O38-1 著明な低アルブミン血症を生じた collagenous colitis の3例
横山 直信（総合南東北病院）
- O38-2 直腸潰瘍を有したIBDと鑑別を要する Sexually Transmitted Disease の2例
今村 拓磨（東京医科大学病院）
- O38-3 潰瘍性大腸炎様の内視鏡像を呈した好酸球性大腸炎の1例
越川 頼光（高の原中央病院）
- O38-4 *Aeromonas hydrophila* 腸炎が潰瘍性大腸炎と類似した一例
冨田 麻友（愛知医科大学病院 消化管内科）

11：15～11：39 一般演題39

座長：林 亮平（県立広島病院 内視鏡内科）
佐上晋太郎（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）

- O39-1 当院におけるクローン病関連消化管癌の特徴
米澤麻利亜（東京女子医科大学 消化器内科）
- O39-2 炎症性腸疾患患者に合併する腸管外悪性腫瘍の特徴：多施設後方視的観察研究
林 龍之介（旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野）
- O39-3 炎症性腸疾患患者に合併する腫瘍性疾患の検討
古川 滋（函館五稜郭病院）
- O39-4 当院における悪性腫瘍を合併する潰瘍性大腸炎患者の診療の現状
北條 紋（東邦大学医療センター大森病院）

11：40～12：16 一般演題40

座長：有光 晶子（医療法人錦秀会インフュージョンクリニック 内科）
井口 俊博（岡山大学 腸健康科研究センター）

- O40-1 当院におけるベドリズマブの自己注射への切り替えに関する検討
高木 由理（藤沢湘南台病院 消化器内科）
- O40-2 ベドリズマブ在宅皮下注射への移行に関する患者意向の実態
霍田 菊代（大腸肛門病センター高野病院）

- O40-3 ベドリズマブ投与患者に対する投与方法の意識調査
藤谷知詠子（医療法人愛知会胃腸科肛門科家田病院 薬剤部）
- O40-4 ベドリズマブの自己皮下注射治療の導入
森久 芳樹（神戸市立医療センター中央市民病院）
- O40-5 潰瘍性大腸炎のベドリズマブ維持療法における点滴静注から皮下注射への移行について
所 典子（辻仲病院 柏の葉）
- O40-6 ベドリズマブ製剤間での短期 preference 調査について
加藤 真吾（埼玉医科大学総合医療センター 炎症性腸疾患センター / 消化器・肝臓内科）

13：20～13：45 一般演題41

- 座 長：下立 雄一（倉敷中央病院 消化器内科・IBDセンター）
中野 省吾（日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科）
- O41-1 潰瘍性大腸炎関連腫瘍術後18年目に回腸嚢炎と直腸癌を認めた1例
藤平 和秀（国立病院機構大阪医療センター）
- O41-2 慢性回腸嚢炎に対するインテグリン阻害剤の可能性：ベドリズマブによる著効例
矢島 高（山梨県立中央病院消化器内科）
- O41-3 心肺停止に至った難治性回腸嚢炎の1例
松本 健吾（獨協医科大学病院）
- O41-4 Vedolizumabが奏功した回腸嚢炎の1例
杉島 涼音（守口敬仁会病院）
- O41-5 LGBT女性の人工膈と大腸に発症した潰瘍性大腸炎の1例
小濱 清隆（公立福生病院）

13：50～14：15 一般演題42

- 座 長：堀田 祐馬（京都第二赤十字病院 消化器内科）
坂谷 慧（旭川医科大学 内科学講座 消化器内科学分野）
- O42-1 5-ASA不耐を生じて口側進展した直腸炎型潰瘍性大腸炎の1例
西村 東人（八尾徳洲会総合病院）
- O42-2 ストレスと食事が症状増悪因子と考えられる潰瘍性大腸炎の1例
春山 忠佑（淀川キリスト教病院）

- O42-3 横行結腸癌手術後に増悪した潰瘍性大腸炎の一例
吉田 力 (大阪労災病院)
- O42-4 サイトメガロウイルス感染により増悪した直腸炎型潰瘍性大腸炎の一例
渡邊早百合 (福島県立医科大学会津医療センター)
- O42-5 乳癌化学療法中の潰瘍性大腸炎にCMV腸炎およびCD腸炎を合併した1例
蘆川 堯 (亀田総合病院)

14:20~14:50 一般演題43

- 座長: 米澤麻利亜 (東京女子医科大学 消化器内科)
高橋 索真 (香川県立中央病院 消化器内科・IBDセンター)
- O43-1 HIVに対する抗ウイルス療法で寛解が得られた潰瘍性大腸炎の1例
小笠原かな子 (東北大学病院 消化器内科)
- O43-2 イキセキズマブにより誘発された潰瘍性大腸炎に対してウパダシチニブが著効した1例
田中 翔 (北海道大学病院)
- O43-3 ウパダシチニブが奏功した結節性紅斑合併潰瘍性大腸炎の一例
樋口 真司 (総合南東北病院 消化器内科)
- O43-4 中毒性巨大結腸症合併/非合併重症潰瘍性大腸炎3例の臨床経過の検討
中井 康貴 (JA 北海道厚生連札幌厚生病院 消化器内科 (IBDセンター))
- O43-5 妊娠中期に発症した重症潰瘍性大腸炎の一例
原 拓也 (大崎市民病院)
- O43-6 妊娠中期にイレウスを発症したが、厳重管理体制により正常分娩が可能であったクローン病の1例
中川 佳恵 (東海大学医学部附属病院 臨床研修部)

【第5会場】（北斗（5F））

8：50～9：26 一般演題44

座長：北村 和哉（市立砺波総合病院 消化器内科）

良原 丈夫（大阪大学大学院医学系研究科 消化器内科学）

O44-1 当院におけるクローン病に対するリサンキズマブの治療成績

一宮 匡（東京医科大学病院）

O44-2 演題取り下げ

O44-3 当施設におけるクローン病に対するリサンキズマブの長期使用成績

田中 啓仁（鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学）

O44-4 当院におけるクローン病に対するリサンキズマブの短期的有効性に関する検討

洪 伸有基（広島大学病院 消化器内科）

O44-5 クローン病患者におけるリサンキズマブ維持期トラフ濃度の臨床的意義

今井 隆行（滋賀医科大学）

O44-6 中等症から重症のクローン病患者における3年間の投与によるリサンキズマブの長期有効性及び安全性

久松 理一（杏林大学 消化器内科学）

9：30～10：06 一般演題45

座長：大宮 直木（藤田医科大学医学部 先端光学診療学講座）

武田 輝之（福岡大学筑紫病院 消化器内科）

O45-1 クローン病腸管狭窄症例における内視鏡的拡張術離脱に関する検討

岡部 誠（京都大学医学部附属病院）

O45-2 クローン病に伴う小腸狭窄に対する内視鏡的狭窄拡張術の検討

久野 徹（山梨大学消化器内科）

O45-3 小腸病変における粘膜治癒を予測する指標としてのLRGの有用性の検討

横田 佳大（滋賀医科大学 消化器内科）

O45-4 クローン病上部消化管病変検出における通常内視鏡と細径内視鏡の比較

佐藤 允洋（旭川医科大学内科学講座 消化器内科学部門）

O45-5 小腸カプセル内視鏡検査での早期の小腸クローン病の診断に与える因子の検討

中路幸之助（医療法人愛晋会中江病院）

O45-6 炎症性腸疾患の AI 診断システム

浜本雄一朗 (大阪医科薬科大学 病理学)

11 : 15~11 : 45 一般演題 46

座 長 : 西田 淳史 (滋賀医科大学 消化器内科)

平賀 寛人 (弘前大学大学院医学研究科 消化器血液免疫内科学講座)

O46-1 UC に対する抗 IL-23p19 抗体治療の多施設レジストリ研究 ~ IBD Quality team ~

貞島 健人 (佐賀大学医学部内科学講座 消化器内科)

O46-2 潰瘍性大腸炎患者への IL-12/23 阻害薬及び IL-23 阻害薬治療に関する当院のリアルワールドデータ

藤原 裕也 (兵庫県立尼崎総合医療センター)

O46-3 日本人潰瘍性大腸炎患者に対する ADT 治療歴別のグセルクマブの効果 : QUASAR 試験サブグループ解析

藤井 俊光 (東京科学大大学院医歯学総合研究科消化器連携医療学)

O46-4 日本人潰瘍性大腸炎患者に対するグセルクマブの効果 : QUASAR 導入・維持試験のサブグループ解析

平井 郁仁 (福岡大学医学部 消化器内科)

O46-5 グセルクマブ導入後 24 週時に臨床的改善を示した日本人潰瘍性大腸炎患者に対する寛解維持療法の有効性

本谷 聡 (札幌厚生病院 IBD センター)

11 : 50~12 : 20 一般演題 47

座 長 : 今枝 博之 (埼玉医科大学 消化器内科)

上小鶴孝二 (兵庫医科大学病院 消化器内科学講座)

O47-1 潰瘍性大腸炎に対するリサンキズマブの短期治療成績と背景因子の検討

宮川 麻希 (札幌 IBD クリニック)

O47-2 リサンキズマブの潰瘍性大腸炎に対する実臨床データ : 20 週での有効性の検討

小柳 亮太 (宇都宮記念病院)

O47-3 Ustekinumab failure 潰瘍性大腸炎に対する risankizumab の短期有効性

藤井 俊光 (東京科学大学)

O47-4 リサンキズマブの投与を受けた潰瘍性大腸炎患者でのバイオマーカーと内視鏡的及び臨床的評価との相関

竹内 健 (辻仲病院柏の葉 消化器内科・IBD センター)

- O47-5 潰瘍性大腸炎患者を対象としたリサンキズマブ維持療法の最長3年間の有効性及び安全性
久松 理一 (杏林大学医学部 消化器内科学)

13 : 20~13 : 56 一般演題48

- 座 長：長堀 正和 (東京科学大学病院 ヘルスサイエンス R & D センター)
大井 充 (神戸大学医学部附属病院 国際がん医療・研究センター 消化器内科)
- O48-1 インフリキシマブ期間短縮投与を継続しているクローン病症例の検討
大森 信弥 (仙台赤十字病院)
- O48-2 クローン病に対するウパダシチニブの治療成績
塩田 純也 (長崎大学病院 消化器内科)
- O48-3 中等症から重症のクローン病患者におけるウパダシチニブのレスキュー治療の効果：U-ENDURE 試験
角田 洋一 (東北大学 消化器内科)
- O48-4 クローン病の東アジア人患者におけるゲセルクマブの有効性と安全性：GALAXI 2 & 3 試験
松岡 克善 (東邦大学東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科)
- O48-5 東アジアのクローン病患者に対する生物学的製剤治療歴別のゲセルクマブの有効性：GALAXI 2&3 試験
松岡 克善 (東邦大学医療センター佐倉病院 消化器内科)
- O48-6 東アジア人クローン病におけるゲセルクマブ皮下導入療法の有効性と安全性：GRAVITI試験部分集団解析
竹内 健 (辻仲病院柏の葉 消化器内科 IBD センター)

14 : 00~14 : 30 一般演題49

- 座 長：吉田 篤史 (大船中央病院 消化器・IBD センター)
上村 修司 (鹿児島大学大学院 消化器疾患・生活習慣病学)
- O49-1 当院におけるクローン病に対するウステキヌマブの治療成績
久能 宣昭 (福岡大学病院)
- O49-2 当院におけるクローン病に対するウステキヌマブとリサンキズマブの有用性、安全性の比較検討
児嶋 宏晃 (福岡大学筑紫病院 消化器内科)

- O49-3 クロウン病患者でのミリキズマブ導入療法による早期の症状改善と安全性：VIVID-1 東アジア集団の結果
竹内 健（辻仲病院柏の葉 消化器内科・IBD センター）
- O49-4 クロウン病患者での便意切迫感に対するミリキズマブの有効性：VIVID-1 試験東アジア集団での解析
平井 郁仁（福岡大学医学部 消化器内科学講座）
- O49-5 クロウン病患者での組織学的炎症に対するミリキズマブの有効性：VIVID-1 試験東アジア集団での解析
久松 理一（杏林大学医学部 消化器内科学）

16：00～16：25 一般演題50

- 座 長：古田 陽輝（熊本大学病院 消化器内科）
山下 賢（広島大学病院 内視鏡診療科）
- O50-1 リツキシマブ投与中にクローン病を発症した難治性ネフローゼ症候群の1例
古川 潤一（県立広島病院）
- O50-2 COVID-19関連ギラン・バレー症候群後にクローン病を発症し、ウパダシチニブが有効であった一例
青木 孝弘（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科 消化器疾患・生活習慣病学）
- O50-3 IL-17阻害薬にて惹起された大腸型クローン病に対してウステキヌマブが著効した一例
西川 貴広（社会医療法人宏潤会大同病院）
- O50-4 インフリキシマブ投与後に化膿性汗腺炎を発症したクローン病に対してリサンキズマブが奏効した2例
澁谷 尚希（東京慈恵会医科大学附属第三病院）
- O50-5 FGF23関連低リン血症性骨軟化症を発症したクローン病の1例
谷口 育洋（佐世保市総合医療センター）

16：30～16：55 一般演題51

- 座 長：古川 滋（函館五稜郭病院 IBD センター）
岡部 誠（京都大学医学部附属病院 消化器内科）
- O51-1 免疫チェックポイント阻害剤投与後の大腸炎に対して5-ASA製剤で寛解した一例
池田 礼（横浜市立大学附属病院 消化器内科）
- O51-2 難治性潰瘍性大腸炎の経過中に周期性発熱を契機に診断されたMEFV関連腸炎の1例
綿引 優（福島県立医科大学 消化器内科）

- O51-3 診断・治療に難渋したが、コルヒチンが著効したIBD-Uの1例
常盤 孝介（函館五稜郭病院 消化器内科）
- O51-4 免疫チェックポイント阻害薬投与後に重症大腸炎を発症し緊急手術を要した潰瘍性大腸炎既往症例
二木 了（東京女子医科大学 消化器・一般外科）
- O51-5 短期間に大腸狭窄をきたした潰瘍性大腸炎6症例の臨床的検討
鈴木 健夫（チクバ外科・胃腸科・肛門科病院）

17：00～17：25 一般演題52

- 座 長：谷田 諭史（蒲郡市民病院 消化器内科）
阿曾沼邦央（北里大学北里研究所病院 炎症性腸疾患先進治療センター）
- O52-1 腸管ベーチェット病疑い症例の巨大咽頭潰瘍にアダリムマブが著効し高度の癒痕狭窄を呈した一例
吉田 尚弘（石川県立中央病院）
- O52-2 Infliximab (IFX) が著効した器質化肺炎を伴う腸管 Behcet 病（腸管BD）様疾患の1例
邊見慎一郎（大阪赤十字病院 消化器内科）
- O52-3 小腸サルコイドーシスの一例
松岡 祐介（弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座）
- O52-4 腸管ベーチェット病・クローン病に類似する食道潰瘍のみを呈する症例についての検討
松野 雄一（九州大学大学院 病態機能内科学）
- O52-5 診断に難渋する原因不明の小腸炎を来した低IgD血症の2例
赤澤 豪紀（関西電力病院 消化器・肝胆膵内科）

【ポスター会場】（摩周（3F））

11：15～12：15 ポスター発表（医学生）

座長：高津 典孝（福岡大学筑紫病院 炎症性腸疾患センター）
遠藤 克哉（東北医科薬科大学 消化器内科）

P-01 ウパダシチニブにて手術を回避した巨大結腸症を呈した潰瘍性大腸炎の1例
黒沼 晴希（北海道大学医学部 医学科5年）

P-02 潰瘍性大腸炎加療中に脳梗塞を発症し重症化した1例
小林 凌（国際医療福祉大学医学部 医学科5年）

P-03 術前に減量を行い回腸囊肛門吻合術が施行できた潰瘍性大腸炎の1例
森川紘太郎（兵庫医科大学）

P-04 コルヒチン投与により腸管皮膚瘻が改善したMEFV遺伝子変異を有するクローン病の1例
佐藤 亮太（札幌医科大学医学部5年）

P-05 集学的治療により大腸全摘を回避できた重症潰瘍性大腸炎の1例
辻 綾花（札幌医科大学医学部 医学科5年）

P-06 5q-症候群に合併した腸管型ベーチェット病の1例
浜崎 智成（旭川医科大学 医学部 医学科）

P-07 尋常性乾癬に対する抗IL-17A抗体製剤治療が潰瘍性大腸炎発症の契機になったと考えられる1例
尾藤 滉基（浜松医科大学）

P-08 Wilson病による肝機能障害を生じた潰瘍性大腸炎の1例
本間日奈子（札幌医科大医学部 医学科5年）

P-09 潰瘍性大腸炎関連上行結腸癌に対しロボット支援下大腸全摘術を施行した1例
松岡 慧（富山大学医学部医学科）

P-10 結腸重全摘術施行17年後に後腹膜膿瘍を形成したクローン病の1例
元原 綾加（兵庫医科大学 炎症性腸疾患外科）

P-11 周期性発熱を認めない家族性地中海熱の1例
佐伯美緒子（旭川医科大学 医学科）

P-12 長期的な経過で腸管外兆候が先行した潰瘍性大腸炎の1例
山崎正太郎（弘前大学医学部 医学科）